第２章　施　　設

１．受　配　水　系　統　図

２．施　設　概　要

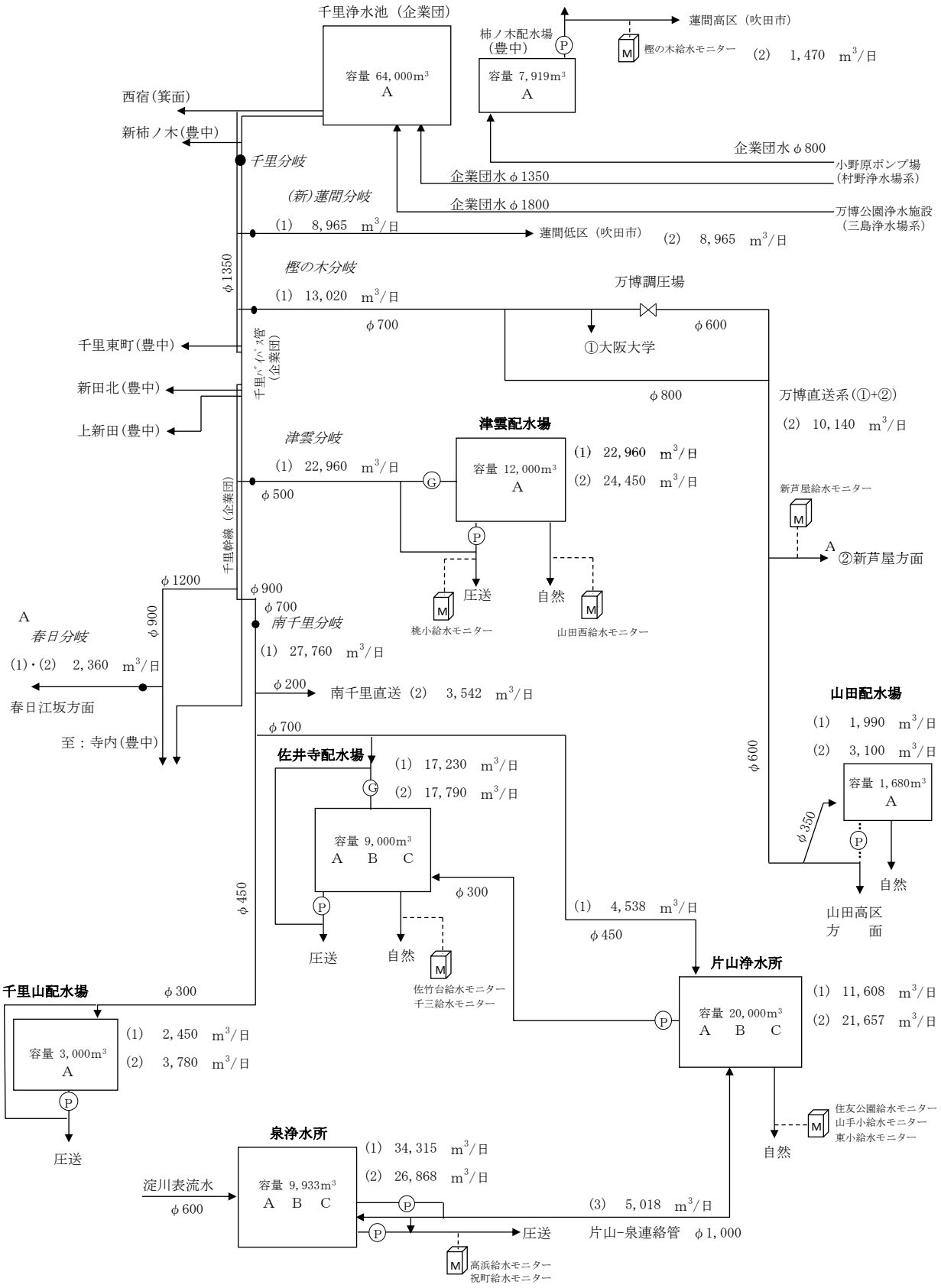
３．導・送・配水管布設・撤去状況

４．導・送・配水管延長

５．導・送・配水管耐震化状況

６．導・送・配水管経年化状況

1. 受 配 水 系 統 図（令和5年(2023年)3月末現在）



凡　　例

(1) 令和4年度一日最大配水量日(6月30日)の受水量及び浄水量　A……企業団水　自然……自然流下給水
(2) 令和4年度一日最大配水量(124,122m³)　B……地下水　Ⓟ ……ポンプ加圧給水
(3) 令和4年度一日最大配水量日の送水流量　C……表流水　Ⓖ ……小水力発電設備

2. 施 設 概 要

泉浄水所

第4次拡張事業の中で建設に着手し、昭和39年(1964年)7月に地下水源による１日最大19,000㎥の配水能力を有する浄水施設が完成した。その後、急増する水需要に対し、更なる水源を淀川表流水に求め昭和41年(1966年)6月から水処理を開始した。

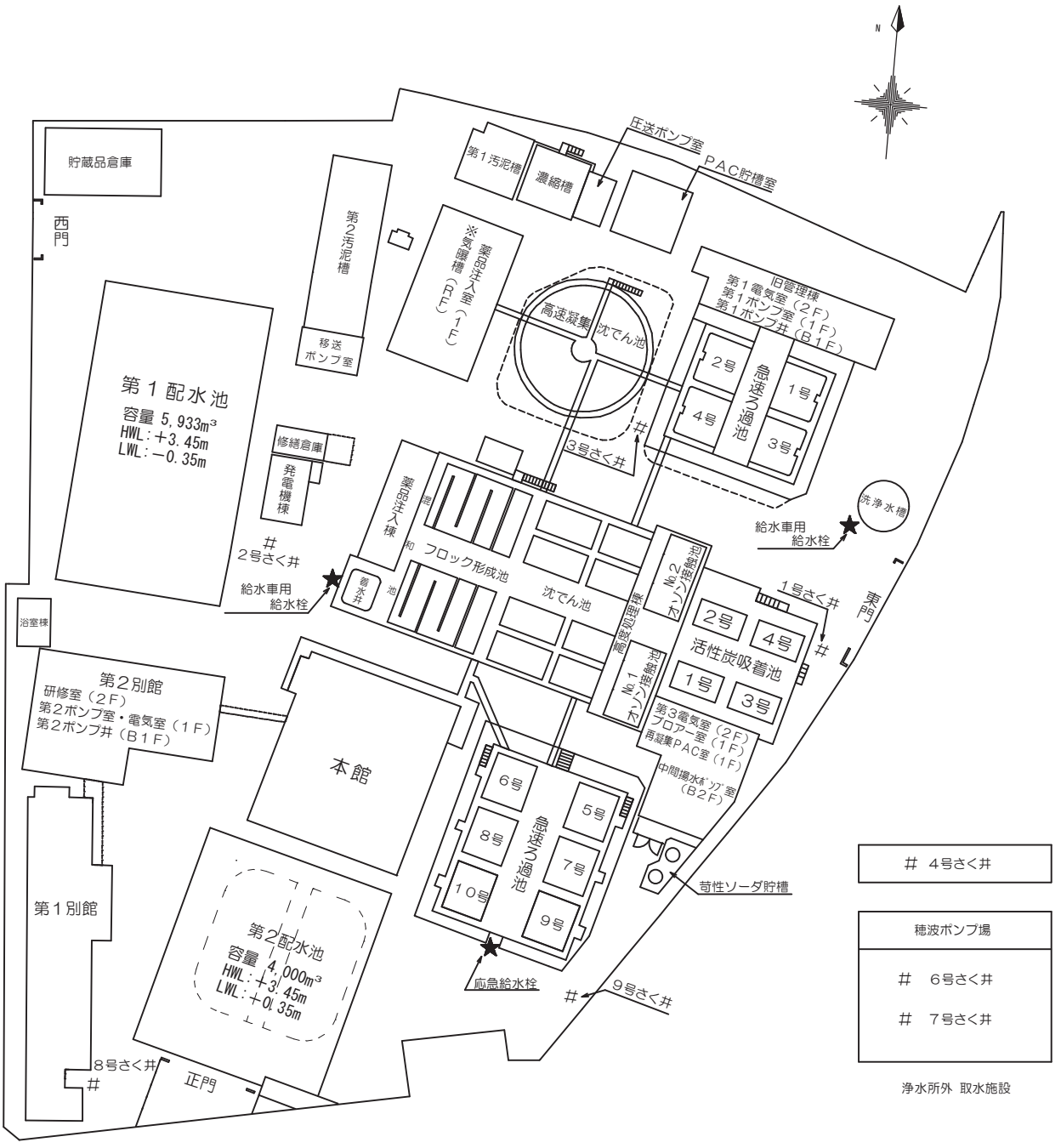
平成9年(1997年)6月には高度浄水処理設備が完成し、高度浄水処理水を供給している。

泉浄水所、片山浄水所間には、自己水の有効利用のため令和3年度(2021年度)からφ1000mm片山-泉連絡管を設け、より一層の安定給水を図っている。

所在地　吹田市南吹田3丁目3番60号
敷地面積　19,096㎡
水源　表流水、地下水
配水方式　ポンプ圧送方式
給水能力　35,550㎥

区分	施設		構造及び概要		数量
浄水施設	薬品注入室	施設概要	鉄筋コンクリート造 屋上 地上1階	地上1階 気曝槽（原水槽） 過マンガン酸カリウム注入設備、薬品溶解設備	1棟
		設備概要	過マンガン酸カリウム注入設備	過マンガン酸カリウム注入ポンプ 薬品溶解槽　2.5㎥	2台 2槽
	PAC貯槽室	施設概要	鉄骨造 地上1階	地上1階 ポリ塩化アルミニウム注入設備 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液設備	1棟
		設備概要	ポリ塩化アルミニウム(PAC)注入設備	ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ（表流系） ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ（地下系） 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液ポンプ ポリ塩化アルミニウム貯槽　PE製 内径2.71m×3.81m　有効容量 18㎥	2台 2台 2台 2基
	高速凝集沈でん池（地下水）		鉄筋コンクリート造	スラッジブランケット型（傾斜管沈降装置付） 底直径14.0m　最大直径20.0m　有効水深 6.0m 有効容量 1,220㎥	1基
	表流水	着水井	鉄筋コンクリート造	6.0m×7.48m×3.6m　有効容量 123㎥	1池
		混和池	鉄筋コンクリート造	1.5m×11.0m×3.5m　有効水深 3.25m　有効容量 42㎥	2系統
			フラッシュミキサ	出力 2.2kW	6台
		フロック形成池	鉄筋コンクリート造	11.0m×13.9m×3.5m　有効水深 3.0m　有効容量 420㎥	2系統
			フロキュレータ	出力 0.4～2.2kW	8台
		沈でん池	鉄筋コンクリート造	上向流傾斜管方式、気圧式排泥装置 11.0m×19.7m×7.4m　有効水深 7.4m　有効容量 1,600㎥	2系統
	高度処理棟	施設概要	鉄筋コンクリート造 地下2階 地下1階 地上1階 地上2階 地上3階	地上3階、地下2階 中間揚水ポンプ室、調整池（地下2階～地上1階） 流量計室 再凝集ポリ塩化アルミニウム室、空洗ブロアー室、苛性ソーダ注入設備 オゾン接触池、活性炭吸着池 オゾン発生室、第3電気室、再凝集攪拌室 排オゾン処理室、排気・給気消音室、換気機械室	１棟
		設備概要	オゾン処理設備 オゾン発生機 オゾン接触槽 オゾン反応槽	散気管　上下迂流2段向流接触方式 空気原料　空冷板型無声放電式　発生量　3.1kg/h 6.0m×4.0m×8.05m　有効水深 6.4m　容量 153.6㎥ 6.0m×2.0m×8.05m　有効水深 6.2m　容量 74.4㎥	 3台 2池 2池
			活性炭吸着設備	上向流流動層方式　ろ過面積 46.4㎡　LV 11.0m/h 石炭系粒状活性炭　活性炭層厚 2.0m	4池
			中間揚水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ　出力 75kW	3台

浄水施設	高度処理棟	設備概要	調整池	容量 450㎥(No.1) ・ 500㎥(No.2)	2池
			再凝集池	2.5m×2.5m×4.95m　有効水深 4.0m　有効容量 25㎥	2池
			排オゾン処理装置	特殊マンガン接触方式	2台
			苛性ソーダ注入設備	前苛性ソーダ注入ポンプ 後苛性ソーダ注入ポンプ 苛性ソーダ貯槽　PE製 内径2.145m×2.54m　有効容量 8㎥	1台 1台 2基
			再凝集 ポリ塩化アルミニウム(PAC)注入設備	再凝集ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ 再凝集ポリ塩化アルミニウム貯槽　PE製 内径1.42m×1.85m　有効容量 2㎥	2台 2基
	薬品注入棟	施設概要	鉄筋コンクリート造 地上1階 地上2階 地上3階	地上3階 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ室、次亜塩素酸ソーダ貯槽室 水質計器室、水質分析室 無停電電源室	1棟
		設備概要	次亜塩素酸ソーダ注入設備	中間次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 後次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 次亜塩素酸ソーダ貯槽　PE製 内径2.145m×2.54m　有効容量 8㎥	3台 2台 2基
	急速ろ過池		鉄筋コンクリート造	7.3m×7.3m　ろ過面積 53.29㎡ 下部集水装置　ホイラー型（4池） 有孔ブロック型（6池）	10池
	移送ポンプ室	施設概要	鉄骨造地下RC造 地下2階 地上1階 地上2階	地上2階、地下2階 ポンプ室 活性炭供給機室 活性炭保管室	1棟
		設備概要	返送ポンプ 移送ポンプ 活性炭供給機	片吸込渦巻ポンプ出力 18.5kW 標準2階形スラリーポンプ　出力 5.5kW	2台 2台 1台
	圧送ポンプ室	施設概要	鉄骨造地下RC造 地下1階 地上1階	地上1階、地下1階 ポンプ室 電気室	1棟
		設備概要	圧送ポンプ	単段高圧スラリーポンプ　出力 30kW	2台
	第１汚泥槽		鉄筋コンクリート造	10.0m×10.0m×3.0m　有効水深 3.0m　有効容量 300㎥	1槽
	第２汚泥槽		鉄筋コンクリート造	30.0m×9.0m×3.3m　有効水深 3.0m　有効容量 800㎥	1槽
	濃縮槽		鉄筋コンクリート造	9.2m×9.2m×4.5m　有効水深 3.0m　有効容量 200㎥	1槽
送配水施設	旧管理棟	設備概要	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階 地上2階	地上2階、地下1階 No.1ポンプ井 第1ポンプ室、計装用コンプレッサー室 第1電気室	1棟
		施設概要	配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ　出力 75kW	1台
			送配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ　出力 90kW	3台
			No.1ポンプ井	8.9m×17.4m×5.65m　有効水深 3.8m　有効容量 600㎥	1池
	第２別館	設備概要	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階 地上2階	地上2階、地下1階 No.2ポンプ井 第2ポンプ室、第2電気室 研修室	1棟
		施設概要	配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ　出力 180kW	4台
			No.2ポンプ井	4.2m×14.2m×5.65m　有効水深 3.8m　有効容量 215㎥	1池
	第１配水池		鉄筋コンクリート造	28.8m×23.0m×5.35m　有効水深 3.8m　有効容量 1,972㎥	2池
			鉄筋コンクリート造	28.8m×22.0m×5.35m　有効水深 3.8m　有効容量 1,989㎥	1池
	第２配水池		鉄筋コンクリート造	33.2m×43.2m×5.35m　有効水深 3.8m　有効容量 4,000㎥	1池
	自家発電設備		ディーゼルエンジン	出力 875kVA 6,600V 貯蔵量 4,000L A重油　燃料消費量 218L/h	1台
	洗浄水槽		ステンレス製	内径11.6m×15.0m　有効水深 3.5m　有効容量 370㎥	1基



※ 現在は、原水槽として使用

泉浄水所

(S=1/1000)

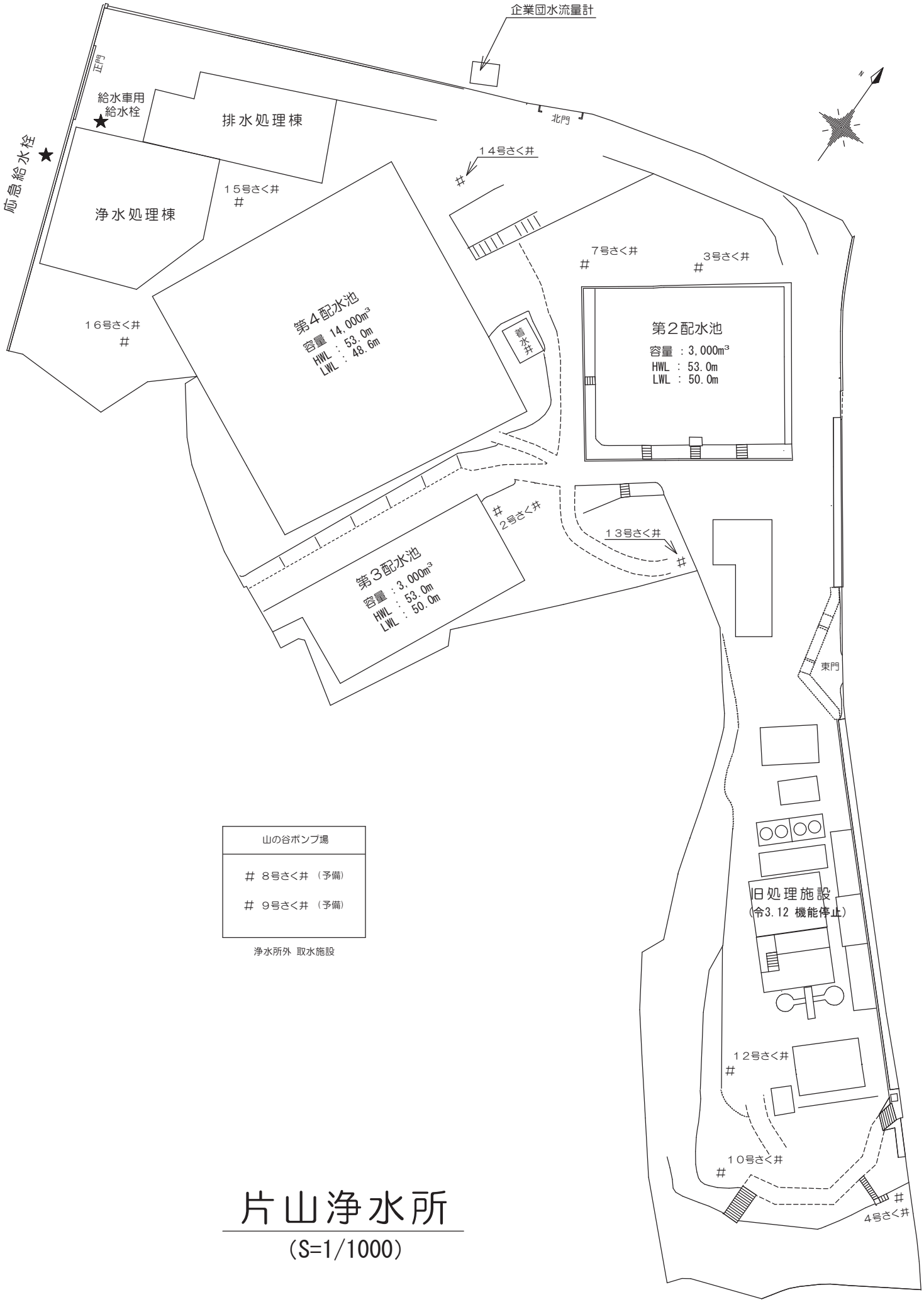
片山浄水所

片山浄水所は昭和26年(1951年)に建設され、大阪市から受水した浄水(水道水)を給水していたが、その後、増大する需要量に対処するため地下水処理施設を築造し、構内に井戸を掘り、現在では１日に12,810㎥の処理が可能である。地域の発展に伴う配水池の増強を行い、泉浄水所の余剰水の有効利用並びに給水量の増加に対応して大阪広域水道企業団水を受水している。令和3年(2021年)12月には、老朽化した旧施設を停止し、新施設（槽浸漬型膜処理施設）による処理を開始した。

所在地　吹田市朝日が丘町26番10号（旧施設は25番1号）
敷地面積　23,200㎡
水源　地下水
配水方式　自然流下方式
給水能力　12,750㎥

区分	施設	構造及び概要		数量
浄水施設	浄水処理棟	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上4階	1棟
	原水井	鉄筋コンクリート造	7.35m×3.1m×1.7m　有効容量 33m^3	2槽
	前塩素接触池	鉄筋コンクリート造	7.35m×3.65m×1.7m　有効容量 38m^3	2槽
	混和池	鉄筋コンクリート造	3.75m×4.4m×1.7m　有効容量 15m^3	2槽
	混和池攪拌機	竪型撹拌機　φ350mm	2.2kW	2台
	膜浸漬槽（水槽）	鉄筋コンクリート造	7.35m×5.0m×6.5m　有効容量 192m^3	3槽
	膜浸漬槽（膜ろ過設備）	槽浸漬型セラミック膜	7列×24段×8ユニット	3系
	薬品注入設備	凝集剤注入設備	ダイヤフラムポンプ　出力 18W	4台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 0.5m^3	2槽
		次亜注入設備	前次亜用　一軸ネジ式ポンプ　出力 0.4kW	4台
			後次亜用　一軸ネジ式ポンプ　出力 0.4kW	2台
			薬洗用　マグネットポンプ　出力 1.5kW	1台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 4.0m^3	2槽
		硫酸注入設備	ダイヤフラムポンプ　出力 18W	4台
			薬洗用　マグネットポンプ　出力 0.4kW	1台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 2.0m^3	2槽
		苛性ソーダ注入設備	ダイヤフラムポンプ　出力 30W	2台
			薬洗用　マグネットポンプ　出力 0.75kW	1台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 4.0m^3	2槽
		重亜硫酸ナトリウム注入設備	マグネットポンプ　出力 0.75kW	1台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 4.0m^3	1槽
		チオ硫酸ナトリウム注入設備	マグネットポンプ　出力 0.4kW	1台
			貯留槽　PE製丸型タンク　有効容量 1.0m^3	1槽
	膜ろ過水ポンプ	ステンレス製横軸渦巻ポンプ	出力 37kW	3台
	槽内水引抜ポンプ	スラリーポンプ	出力 11kW	2台
	洗浄水槽	鉄筋コンクリート造	7.35m×3.45m×2.05m　有効容量 46m^3	1槽
	洗浄ポンプ	ステンレス製渦巻ポンプ	出力 18.5kW	2台
	洗浄ブロワ	ルーツブロワ	出力 37kW	3台
	自家発電設備	ガスタービン発電機	出力　1250kVA 6,600V 貯蔵量 19,950L A重油　燃料消費量 542L/h	1台
送配水施設	佐井寺送水ポンプ	横軸渦巻ポンプ	出力 55kW	2台
	着水井	鉄筋コンクリート造	5.0m×7.0m×4.69m 有効水深 3.6m　有効容量 120m^3	1池
	第２配水池	鉄筋コンクリート造	27.4m×23.7m×4.5m 有効水深 3.0m　有効容量 1,500m^3	2池
	第３配水池	鉄筋コンクリート造	30.4m×42.4m×4.5m 有効水深 3.0m　有効容量 3,000m^3	1池
	第４配水池	鉄筋コンクリート造	58.5m×28.45m×5.7m 有効水深 4.4m　有効容量 7,000m^3	2池

排水施設	排水処理棟	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上2階	1棟
	膜濃縮設備	膜濃縮装置	槽浸漬型セラミック膜　12列×11段	2系
		膜濃縮汚泥貯留槽	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　3.95m×2.0m×5.2m　有効容量 34m^3	1槽
		膜濃縮用洗浄水槽	PE製丸型タンク　有効容量 3.0m^3	1槽
		膜濃縮用膜ろ過水ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ　出力 0.75kW	2台
		膜濃縮汚泥貯留槽撹拌機	水中ミキサー　出力2.8kW	1台
		膜濃縮用洗浄ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ　出力 5.5kW	2台
		膜濃縮用洗浄ブロワ	ルーツブロワ　出力 7.5kW	3台
	脱水設備	脱水機	短時間型加圧脱水機　出力 7.4kW	2台
		脱水機用空気槽	円筒型鋼製タンク　φ1.118 ＊ 2.782	1槽
		汚泥打込ポンプ	一軸ネジ式ポンプ　出力 3.7kW	2台
		圧搾水ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ　出力 7.5kW	2台
		ろ布洗浄ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ　出力 5.5kW	2台
		ろ布洗浄水槽	PE製丸型タンク　有効容量 1.5m^3	1槽
	ケーキ搬出設備	No.1ケーキ搬出コンベア	トラフ型ベルトコンベア　出力 0.75kW	2台
		No.2ケーキ搬出コンベア	急傾斜コンベア　出力 1.5kW	1台
		ケーキホッパ	電動カットゲート式　出力 2.2kWx2	1基
	排水貯留槽	鉄筋コンクリート造	7.25m×3.0m×5.2m　有効容量 97m^3	1槽
	排水移送ポンプ	樹脂製水中ポンプ	出力 1.5kW	2台
	薬洗排水貯留槽	鉄筋コンクリート造	7.25m×12.6m×5.2m　有効容量 403m^3	1槽
	薬洗排水移送ポンプ	樹脂製水中ポンプ	出力 1.5kW	2台



山の谷ポンプ場
＃ ８号さく井 （予備）
＃ ９号さく井 （予備）

浄水所外 取水施設

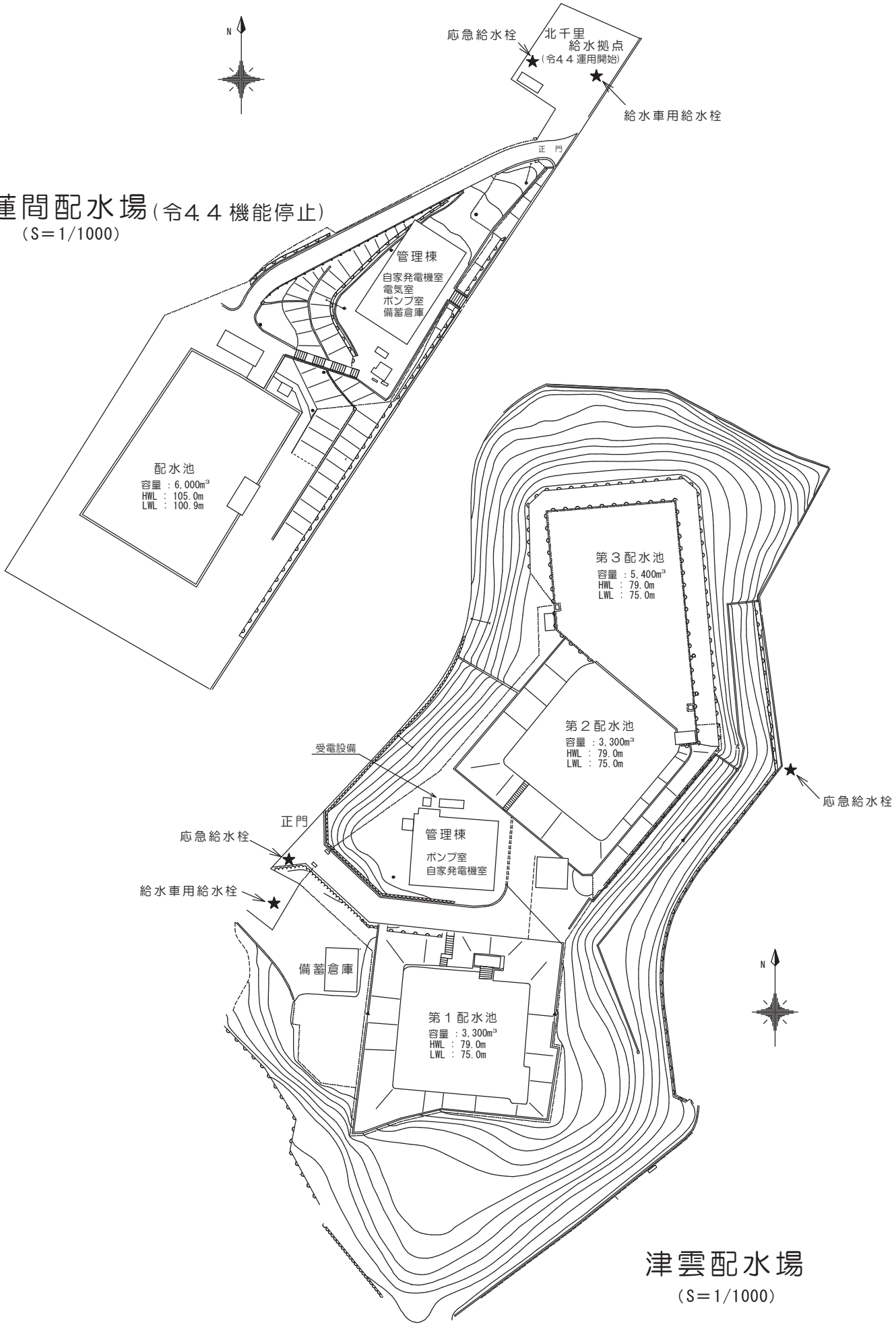
片山浄水所

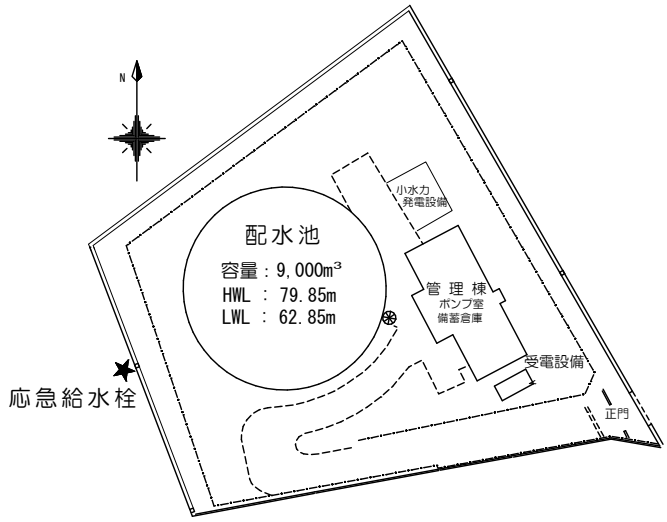
(S=1/1000)

配水場等

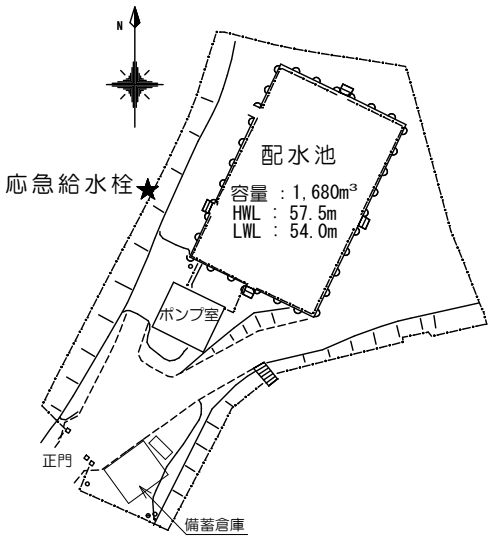
名　称	所　在　地	敷 地 面 積
淀川取水場	大阪市東淀川区菅原1丁目1番50号地先	(北越コーポレーション㈱施設を賃借)
蓮間配水場	吹田市青山台3丁目46番1号	6,329.23㎡　(令和4年(2022年)4月機能停止)
津雲配水場	吹田市津雲台4丁目5番3号	19,362.02㎡
佐井寺配水場	吹田市千里山東4丁目13番9号	2,976.00㎡
千里山配水場	吹田市千里山西4丁目28番3号	3,941.33㎡
山田配水場	吹田市千里丘西15番15号	2,034.31㎡
万博調圧場	吹田市山田丘1番12号（大阪大学構内）	(大阪大学より借地)

区分	名称	施設	概　　要	数量
取水施設	淀川取水場	取水塔	鉄筋コンクリート造　高さ10.8m　内径4.0m×7.0m　楕円形	1基
		取水管	鋳鉄管　内径800mm　延長　70.52m	2本
		取水ポンプ	両吸込渦巻型　85kW	1台
		沈砂池	鉄筋コンクリート造　11.75m×35.6m×3.2m	1池
		ポンプ室	鉄筋コンクリート造　平屋建	1棟
		送水ポンプ	両吸込渦巻型　350kW	1台
送配水施設	蓮間配水場 (令和4年4月機能停止)	管理棟	鉄筋コンクリート造　平屋建	1棟
		配水池	鉄筋コンクリート造　33.5m×25.35m×5.45m 有効水深 4.1m　有効容量 3,000㎥	2池
		配水ポンプ	片吸込渦巻型　11kW	3台
		エンジンポンプ	ディーゼルエンジン　30kW	1台
		自家発電装置	ディーゼルエンジン　80kVA　200V 貯蔵量 500L　軽油　燃料消費量 22.4L/h	1台
	津雲配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造　平屋建	1棟
		第１配水池	鉄筋コンクリート造　30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m　有効容量 3,300㎥	1池
		第２配水池	鉄筋コンクリート造　30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m　有効容量 3,300㎥	1池
		第３配水池	鉄筋コンクリート造　32.0m×57.0m×25.39m×29.47m×4.75m(台形) 有効水深 4.0m　有効容量 5,400㎥	1池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型　45kW	4台
		自家発電装置	ディーゼルエンジン　200kVA　6,600V 貯蔵量 900L　A重油　燃料消費量 47.1L/h	1台
	佐井寺配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造　平屋建	1棟
		配水池	プレストレスコンクリート造　PCタンク 内径26.0m×18.5m　有効水深 17.0m　有効容量 9,000㎥	1池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型　37kW	3台
	千里山配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造　地上2階建	1棟
		配水池	鉄筋コンクリート造　11.45m×38.0m×4.7m 有効水深 4.0m　有効容量 1,500㎥	2池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型　45kW	3台
	山田配水場	ポンプ室	鉄筋コンクリート造　地下1階 地上2階	1棟
		配水ポンプ	片吸込渦巻型　18.5kW	1台
		配水池	鉄筋コンクリート造　13.72m×17.85m×4.25m 有効水深 3.5m　有効容量 840㎥	2池
	万博調圧場	管理棟	鉄骨造　平屋建	1棟
		減圧弁室	鉄筋コンクリート造	1棟

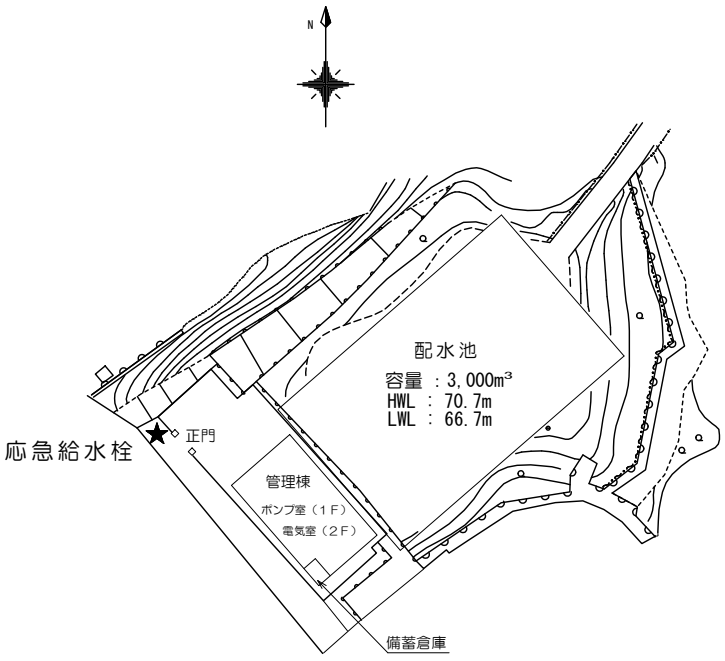

N
応急給水栓
北千里
給水拠点
(令４４運用開始)
給水車用給水栓
正　門
蓮間配水場(令4.4機能停止)
(S=1/1000)
管理棟
自家発電機室
電気室
ポンプ室
備蓄倉庫
配水池
容量 : 6,000m³
HWL : 105.0m
LWL : 100.9m
第３配水池
容量 : 5,400m³
HWL : 79.0m
LWL : 75.0m
第２配水池
容量 : 3,300m³
HWL : 79.0m
LWL : 75.0m
受電設備
応急給水栓
正門
応急給水栓
管理棟
ポンプ室
自家発電機室
給水車用給水栓
備蓄倉庫
第１配水池
容量 : 3,300m³
HWL : 79.0m
LWL : 75.0m
N
津雲配水場
(S=1/1000)



佐井寺配水場
（S＝1/1000）



山田配水場
（S＝1/1000）



千里山配水場
（S＝1/1000）

自動連続水質監視装置（給水モニター）

施　　設　　名	配水系統	設置場所
樫の木　給水モニター	豊中市柿ノ木配水場 （大阪広域水道企業団）	豊中市新千里東町３丁目
新芦屋　給水モニター	万博調圧場直送 （大阪広域水道企業団）	新芦屋上２０４
山田西　給水モニター	津雲配水場 （大阪広域水道企業団）	山田西１丁目
桃山台小学校　給水モニター	津雲配水場 （大阪広域水道企業団）	桃山台１丁目
佐竹台　給水モニター	佐井寺配水場 （大阪広域水道企業団）	佐竹台４丁目
千三　給水モニター	佐井寺配水場 （大阪広域水道企業団）	千里山西２丁目
山手小学校　給水モニター	片山浄水所	山手町２丁目
住友公園　給水モニター	片山浄水所	原町４丁目
東小学校　給水モニター	片山浄水所	幸町２０
高浜　給水モニター	泉浄水所	内本町２丁目
祝町公園　給水モニター	泉浄水所	江坂町３丁目

3. 導・送・配水管布設・撤去状況(令和4年度(2022年度))

(単位:m)

管種 / 口径(㎜)	布設延長				受納(譲渡)等延長					撤去延長							増減数
	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋼管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	合計	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	合計	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	石綿管	合計	
1000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	23	△ 23
600	238	0	0	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238
500	221	0	0	221	0	0	0	0	0	3	13	0	0	0	0	16	205
450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448	371	0	0	0	0	819	△ 819
400	301	0	0	301	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	56	245
350	1	0	0	1	0	0	0	0	0	9	17	0	0	0	0	26	△ 25
300	593	0	0	593	0	0	0	0	0	0	327	0	0	0	0	327	266
250	11	0	0	11	0	0	0	0	0	80	546	30	0	0	0	656	△ 645
200	609	0	0	609	0	0	0	0	0	264	878	0	321	0	0	1,463	△ 854
150	2,596	0	0	2,596	0	0	0	0	0	311	786	0	553	0	0	1,650	946
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	4,189	0	0	4,189	524	0	0	0	524	807	583	0	2,281	0	0	3,671	1,042
89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165	0	0	0	0	165	△ 165
75	788	0	1	789	143	0	0	0	143	129	435	0	62	0	0	626	306
50	0	0	160	160	0	0	0	309	309	0	0	0	272	23	0	295	174
40	0	0	0	0	0	0	0	65	65	0	0	0	73	0	0	73	△ 8
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157	0	0	157	△ 157
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	△ 3
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,547	0	161	9,708	667	0	0	374	1,041	2,130	4,121	30	3,722	23	0	10,026	723

4. 導・送・配水管延長(令和5年(2023年)3月末現在)

(単位:m)

用途	導水管				送水管			配水本管		
管種 / 口径(㎜)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	その他	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管
1000	0	0	0	0	3,086	0	0	0	0	0
900	0	0	0	0	263	0	0	0	0	1,147
800	0	0	0	0	1,883	15	0	35	0	173
700	0	0	0	0	6,851	0	1,270	3,347	0	454
600	76	697	0	0	754	0	0	8,538	953	316
500	0	0	0	0	3,885	905	4	5,416	310	64
450	0	0	0	0	3,660	7	0	1,602	3,320	102
400	0	0	8	0	3,188	0	2	8,017	1,234	132
350	11	324	0	53	800	288	0	1,719	1,606	25
300	918	0	0	7	1,818	1	6	13,908	1,421	162
250	3	0	0	0	21	0	0	320	0	0
200	733	616	0	141	74	0	8	407	0	5
150	266	8	0	0	0	0	0	46	0	0
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	4	0	0	33	0	0
89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	2,007	1,645	8	201	26,287	1,216	1,290	43,388	8,844	2,580
合計	3,861				28,793			54,812		

(単位:m)

配水支管						合計	口径(㎜)
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	石綿管		
0	0	0	0	0	0	3,086	1000
3	0	546	0	0	0	1,959	900
0	0	0	0	0	0	2,106	800
88	0	0	0	0	0	12,010	700
274	0	39	0	0	0	11,647	600
987	866	0	0	0	0	12,437	500
4,926	1,172	38	0	0	0	14,827	450
9,506	586	126	40	0	0	22,839	400
1,879	2,001	36	0	0	0	8,742	350
19,789	4,607	48	4	0	0	42,689	300
13,507	6,432	73	191	0	0	20,547	250
54,908	17,629	253	164	0	0	74,938	200
127,476	36,195	579	3,219	0	0	167,789	150
0	0	0	0	0	0	0	125
178,097	64,151	65	1,336	0	97	243,783	100
0	5	0	0	0	0	5	89
55,705	4,570	1	786	0	0	61,062	75
0	0	102	33,091	3,035	0	36,228	50
0	0	0	944	90	0	1,034	40
0	0	0	732	7	0	739	30
0	0	0	73	4	0	77	25
0	0	0	8	1	0	9	20
467,145	138,214	1,906	40,588	3,137	97	738,553	
651,087							

(単位:m)

用途別管延長		
年度 / 用途	令和3年度末(2021年度末)	令和4年度末(2022年度末)
導水管	3,630	3,861
送水管	29,973	28,793
配水本管	54,525	54,812
配水支管	649,664	651,087
合計	737,792	738,553

(単位:台)

仕切弁・消火栓設置状況		
年度 / 用途	令和3年度末(2021年度末)	令和4年度末(2022年度末)
仕切弁	11,919	12,017
消火栓	5,624	5,628

5. 導・送・配水管耐震化状況(令和5年(2023年)3月末現在)

(単位:m)

用途 / 口径(mm)	導水管(A)		送水管(B)		配水本管(C)		配水支管(D)		基幹管路(A+B+C)		管路全体(A+B+C+D)	
		うち耐震管※1		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管
1000	0	0	3,086	3,086	0	0	0	0	3,086	3,086	3,086	3,086
900	0	0	263	0	1,147	1,139	549	544	1,410	1,139	1,959	1,683
800	0	0	1,898	1,587	208	206	0	0	2,106	1,793	2,106	1,793
700	0	0	8,121	2,961	3,801	2,241	88	4	11,922	5,202	12,010	5,206
600	773	0	754	389	9,807	4,787	313	44	11,334	5,176	11,647	5,220
500	0	0	4,794	2,175	5,790	3,338	1,853	7	10,584	5,513	12,437	5,520
450	0	0	3,667	6	5,024	215	6,136	60	8,691	221	14,827	281
400	8	0	3,190	1,178	9,383	6,488	10,258	1,712	12,581	7,666	22,839	9,378
350	388	0	1,088	782	3,350	721	3,916	57	4,826	1,503	8,742	1,560
300	925	257	1,825	109	15,491	10,945	24,448	7,591	18,241	11,311	42,689	18,902
250	3	0	21	2	320	15	20,203	1,232	344	17	20,547	1,249
200	1,490	11	82	25	412	386	72,954	16,132	1,984	422	74,938	16,554
150	274	152	0	0	46	44	167,469	39,099	320	196	167,789	39,295
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	4	4	33	33	243,746	64,836	37	37	243,783	64,873
89	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0
75	0	0	0	0	0	0	61,062	10,571	0	0	61,062	10,571
50	0	0	0	0	0	0	36,228	0	0	0	36,228	0
40	0	0	0	0	0	0	1,034	0	0	0	1,034	0
30	0	0	0	0	0	0	739	0	0	0	739	0
25	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	77	0
20	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9	0
合計	3,861	420	28,793	12,304	54,812	30,558	651,087	141,889	87,466	43,282	738,553	185,171
耐震化率	10.9%		42.7%		55.8%		21.8%		49.5%		25.1%	
耐震適合性のある管※2	546		14,560		33,005		154,571		48,111		202,682	
耐震適合率	14.1%		50.6%		60.2%		23.7%		55.0%		27.4%	

※1 耐震管 … 地震に対する性能が評価された管種及び継手を使用した管路。

※2 耐震適合性のある管 … 耐震管に加え、管路の布設された地盤条件などを勘案して地震に対する性能が評価された管種・継手を含めた管路。 (耐震適合率 = 耐震適合性のある管 ÷ 管路延長)

6. 導・送・配水管経年化状況(令和5年(2023年)3月末現在)

(単位:m)

用途 / 口径(mm)	導水管(A)		送水管(B)		配水本管(C)		配水支管(D)		基幹管路 (A+B+C)		管路全体 (A+B+C+D)	
		うち経年管※		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管
1000	0	0	3,086	0	0	0	0	0	3,086	0	3,086	0
900	0	0	263	263	1,147	1,147	549	546	1,410	1,410	1,959	1,956
800	0	0	1,898	32	208	173	0	0	2,106	205	2,106	205
700	0	0	8,121	3,811	3,801	1,908	88	1	11,922	5,719	12,010	5,720
600	773	697	754	318	9,807	3,382	313	306	11,334	4,397	11,647	4,703
500	0	0	4,794	2,205	5,790	1,945	1,853	1,841	10,584	4,150	12,437	5,991
450	0	0	3,667	2,105	5,024	4,338	6,136	5,908	8,691	6,443	14,827	12,351
400	8	8	3,190	1	9,383	1,393	10,258	5,049	12,581	1,402	22,839	6,451
350	388	377	1,088	302	3,350	2,070	3,916	2,911	4,826	2,749	8,742	5,660
300	925	480	1,825	11	15,491	2,676	24,448	13,532	18,241	3,167	42,689	16,699
250	3	0	21	1	320	1	20,203	14,912	344	2	20,547	14,914
200	1,490	1,192	82	40	412	1	72,954	32,037	1,984	1,233	74,938	33,270
150	274	24	0	0	46	0	167,469	61,943	320	24	167,789	61,967
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	4	0	33	0	243,746	93,599	37	0	243,783	93,599
89	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	5	5
75	0	0	0	0	0	0	61,062	11,301	0	0	61,062	11,301
50	0	0	0	0	0	0	36,228	10,119	0	0	36,228	10,119
40	0	0	0	0	0	0	1,034	761	0	0	1,034	761
30	0	0	0	0	0	0	739	606	0	0	739	606
25	0	0	0	0	0	0	77	55	0	0	77	55
20	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	9	8
合計	3,861	2,778	28,793	9,089	54,812	19,034	651,087	255,440	87,466	30,901	738,553	286,341
経年化率	72.0%		31.6%		34.7%		39.2%		35.3%		38.8%	

※ 経年管 …地方公営企業法施行規則に定められた資産管理上の耐用年数(40年)を超過した水道管のこと。(経年化率＝経年管÷管路延長)
更新の対象となる管路とは必ずしも一致しない。

－空白－